

5	難				難
4			長ネギシール結束①	カブの袋入れ①	ハウストマト葉かき②
3		イチゴ高架ハウスの ブローアでの清掃①	黒大豆（枝豆）収穫③ キャベツの収穫③ 野菜バッグシーラー①	コーン苗補植① 枝豆セル苗定植① ハウレンソウ調製①	
2			トウガラシ収穫② ニンニク調整（根・葉切り）② 長ネギ調整（裁断機）② 長ネギコンプレッサ皮むき② 長ネギ収穫① 長ネギ計量・分別① 長ネギ袋入れ①	パッションフルーツの カイガラムシ駆除① ハウレンソウ収穫①	
<p>①～③は危険度を示す。詳細は淡路式農作業分析表を参照のこと</p> <p>①安全:通常危険は予想されない 播種・定植</p> <p>②ほぼ安全:簡易な手当てで治療可能な危険(切り傷・打ち身・捻挫)が伴う ハサミ・カッター使用 重い収穫物運搬</p> <p>③やや危険:受診が必要な怪我也起こり得る 包丁・刈込バサミ使用</p>					
1	易	キャベツ畑除草①			難
最多注意配分数 巧緻性		1	2	3	4
					5

兵庫県の農福連携で行われる請負作業の難易度一覧表

(2023年作成:豊田正博@兵庫県立大学)

この作業難易度一覧表は、知的障害者や精神障害者の作業能力と関連が深い注意配分や身体の器用さ(巧緻性:こうちせい)に注目して、作業の難易度を2次元的に示したものです。

最多注意配分数とは、一つの作業場面の中で、注意を向けるべき対象の数です。例えば、左手で物を押えながら右手で作業する場合、作業中の最多注意配分数は2(物を押えている左手と作業をする右手)となります。

詳細は、淡路式農作業分析表(2022年改訂版 農福連携 人と作業のマッチング・ハンドブック)を参照してください。

今まで、農福連携における人と作業のマッチングでは、農作業を提供すると・農作業を請負う人の経験に基づく判断で農作業の難易が決められることが多く、同じ作業でも評価者によって難易の考えが違うために、作業と人のミスマッチングが起きることもありました。

淡路式農作業分析表は、農林水産省主催の農福連携技術支援者育成研修でも教えられているもので、農福連携における人と作業のミスマッチングを減らすことが持続的な農福連携を支えるとの考えに基づいて作られたものです。

同じ視点から作業を評価することで、同じ農作業であれば、誰が評価しても同じ難易度になります。

農家が福祉事業所に作業委託する際、福祉事業所が農作業の請負を検討する際、どれくらいの難易度の作業があるのかを知り、取り組めそうな作業を検討する際の目安になります。